

第58回全国広報広聴研究大会

地域が活きる、未来に誇れるふるさとを目指して ～魅力発信、とちぎから

栃木県では、令和3年度から5年間の県政の基本指針となる「とちぎ未来創造プラン」において「人が育ち、地域が活きる未来に誇れる元気な“とちぎ”」を県の将来像として掲げています。本県には自然や食、歴史・文化など、多様な地域資源があります。この強みを生かしながら、県民一人ひとりが能力と個性を発揮して地域の担い手として活躍し、ふるさとへの愛着と誇りを持って魅力を発信していくことができるとちぎづくりが重要と考えます。

東京オリンピック・パラリンピックなどの開催を契機として、地域の魅力と知名度を広く浸透させるため、地域で出来ること、魅力の磨き上げや発信について考えます。

■プログラム 2021年6月18日(金)

9:30 ~ 10:15	日本広報協会定期総会	13:30 ~ 14:30	講演 デジタルマーケティング活用による 地域魅力発信を考える 小林 圭介 栃木県 CMO (最高マーケティング責任者)
10:00 ~ 10:30	大会受付		
10:30 ~ 11:30	開会式、表彰式 挨拶 日本広報協会会長 栃木県 栃木市 祝辞 内閣府 総務省 全国広報コンクール表彰 内閣総理大臣賞 総務大臣賞 日本広報協会会長賞 読売新聞社賞	14:40 ~ 15:15	事例発表 1 若者参画のまちづくり ～高校生が伝える栃木市の魅力 栃木県栃木市
		15:15 ~ 15:50	事例発表 2 まちのファンを増やす!市民PRチーム 「いこまち宣伝部」 ～暮らす人の実感を、まちへの関心につなげる 奈良県生駒市
11:45 ~ 12:15	特選団体事例発表	15:50 ~ 16:00	閉会式

主催	公益社団法人日本広報協会、 栃木県、栃木市	後援	内閣府、総務省
協賛	全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本新聞協会、NHK、栃木県市長会、栃木県町村会		
開催日	2021年6月18日(金)		
総会・大会会場	とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館) 栃木県栃木市旭町12-16 ※JR両毛線・東武日光線 栃木駅北口より徒歩約15分		
募集人数	200人		
参加費	会員 7,330円(税込み) 会員外 11,520円(税込み)		
支払い方法	参加証・請求書を受け取った後、大会当日までに指定口座にお振り込みください。		
問い合わせ・申し込み先	申し込み書に必要事項をご記入の上、ファクシミリでお申し込みください。 公益社団法人日本広報協会・事業部 電話：03-5367-1701 ファクシミリ：03-5367-1706 申し込み書は、当協会ウェブサイトからもダウンロードできます。▶ http://www.koho.or.jp/		

13:30 ~ 14:30

講演

デジタルマーケティング活用による地域魅力発信を考える

小林 圭介 栃木県 CMO（最高マーケティング責任者）

全世界人口 76.7 億人のうち、43.8 億人が日常的にインターネットを使用し、スマートフォンの利用率が年々伸び続けている状況にあつて、人々の行動、特に情報収集手段において、大きなデジタルシフトの波が生まれています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「新しい生活様式」を実現する手段としてデジタル化が一段と加速し、これまでの生活スタイルが大きく変わりつつあります。

こうした社会的状況の変化に的確に対応するためには、デジタルを活用した積極的な情報発信の取り組みの推進が必要です。イソナーブランディングとアウトナーブランディングの事例などを紹介しながら、デジタルを活用した広報活動について考えます。

■プロフィール：こばやしけいすけ

株式会社キネッソジャパン DX Solution Unit/Unit Director

1980 年生まれ。インターネット広告代理店でキャリアをスタート後、デジタル広告の黎明期（2000 年代）から一貫して提案・運用・組織開発に関わり、運用型ウェブ広告およびアドテクノロジーの活用に関するコンサルタントとして活躍。2018 年からは自治体を含むクライアントのデジタルマーケティング活用のための組織開発・仕組みづくり・運用体制構築に携わる。2020 年度から栃木県デジタルマーケティングアドバイザー、2021 年度に栃木県 CMO 就任。

14:40 ~ 15:15

事例発表 1

若者参画のまちづくり ～高校生が伝える栃木市の魅力

栃木県栃木市

栃木市は、市内に九つの高校がある「高校生のまち」。最近では、市内の高校生が「栃木市の魅力をたくさんの人に伝えたい」と、積極的にまちづくりに関わりはじめました。平成 26 年に結成されたサークル「とちぎ高校生蔵部」には、市内の高校の枠を超えて、まちづくりやボランティアに関心のある高校生が集います。「蔵の街観光マップ」「栃木の街散策マップ」の制作、「ご当地 CM コンペティション」「栃木市高校生合同文化祭」の開催など、その活動は多岐にわたります。これらの事例から、若者の地域づくりへの参画について考えます。

15:15 ~ 15:50

事例発表 2

まちのファンを増やす！市民 PR チーム「いこまち宣伝部」 ～暮らす人の実感を、まちへの関心につなげる

奈良県生駒市

まちの魅力取材し、発信する市民 PR チーム「いこまち宣伝部」。1 年任期の活動には、毎年定員を大きく上回る応募があり、現在 7 年目を迎えました。コロナ禍においてテイクアウト情報を発信したり、ランチや地域の魅力を発信するオンライン番組を担当したり、まちのインフルエンサーを育てるシティブロモーションの中核事業です。他にも写真を通じて地域を元気にする「ローカルフォト」の講座や、生駒の魅力的な人に会いに行くツアー「いこまとりっぴ」の開催など、まちの発信者を増やすことを目的とした生駒市の取り組みについて話します。